

主要空港が被災した場合の代替輸送連絡調整メカニズムの構築のための調査検討会（第3回）

議事要旨

日時：令和4年3月14日（月）13:00～14:30

場所：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)24階・中会議室/リモート会議（Teams）

※資料の説明がなされた後、意見交換を行った。

○課題として挙げられていた国の関わり方や緊急事態宣言の部分について、関空被災時を思い返すと民間企業の立場からはそのようなものがあつた方が対応しやすいような状況もあつたと思う。しかし、その担い手や情報の出し方、発動の基準などを現時点で具体的に示すことは難しいのではないかと感じた。

○今回の検討会の中でまとめられた意見は、より効率的な代替輸送や復旧に向けた大きな道標になると感じている。このような事態が発生した場合に、航空物流全体を考えると人命第一という点と航空輸送の各社安全運航確保という点が大きな前提になると思う。具体的なガイドラインについて、検討が必要な課題は多々あると思うが、自立的に行う部分と総合調整が必要な部分を合わせた形でできるような体勢を期待している。

○基盤となるプラットフォームの作り方について、いざという時に誰がイニシアチブを持って進めていくのか、それぞれの主体が何を行うべきか、タイムリーにできるのかという点は課題が残っていると思う。

○緊急事態宣言については、どのような基準で誰が発令するのかという点について、今後検討が必要であると思っている。特に基準については、各機関の定めがあると思うのでその定めと整合をとることと統一的な基準の策定が今後必要になると思う。発令することで広く危機感を持ってもらうことは重要だと思う一方、関係する機関が多岐にわたるからこそ、どのように実効性を伴わせていくかが重要である。

○情報共有掲示板については、これまで個別に集めていた情報をタイムリーに各機関が取得できるようになるため、非常に重要なプラットフォームであると思っている。協議体については、社内のBCP発動時の体勢について今一度確認しておきたいと思うが、発動時に立ち上がる総合対策本部と併存させるのか融合させるのかという点についても検討が必要かと思う。各機関の参集が難しいところもあると思うが、横断的な情報の共有や意思確認、方針決定といったものを行い、物流の早期復旧を目指す必要があるように感じている。また、このような検討会を継続的に行い、率直な意見を交換し合うことで、課題問題を共有して解決策を見出していくことが重要だと思う。

○広域支援協議体についてはよい提案であると思っている。メンバー等の課題はあるかと思うが、平時から万が一の際にどのように動くかについて、それぞれが緩くイメージをしておくだけでも、実際の被災時に適切な行動が取れるようになるのではないかと考えている。

○役割ごとに、情報収集や情報の発信等すべきことが山積みである。しかし、被災した側では現場の対応に追われるのが現実であり、その中でどのように優先順位をつけて行うのかについて、もう少し精度を上げて決めていく必要があるのではないかと感じた。

○ガイドラインをより実効的なものにして行くためには、ガイドラインを格上げしていく必要があるのではないかと考えている。緊急事態宣言などについては、完全に民間経営である空港会社としてはしづらい。どのような権限で行っていくのが難しい点であると感じており、国の役割が非常に重要であると個人的に感じている。災害が起こった際には混乱を思うので、その中でどうしていくのかというところに関しては、強力なリーダーシップが必要になってくると思う。今後はそういった点を検討して頂ければと思う。

○今回のガイドラインの目的は空港間の相互連携により物流の早期回復を目指すことであるが、物流の早期回復という視点で空港会社が判断するということはなかなか難しいのではないかと感じている。広域支援協議体のような会議体で諮り、緊急事態であることが決まり、それに伴って宣言を発動するといった形である方が個人的には違和感がない。ただ、何かトリガーが必要であるのであれば、それに代わるものが必要なのではないかと感じている。

○空港会社の立場からすると、物流に関する全体の流れを把握できていないため、空港会社に過大に期待されると困ってしまう。物流の早期回復は国家レベルの課題であるので、ある程度は国が管理して進めた方がスムーズなのではないか。

○緊急事態宣言等、今後検討が必要な課題は残っていると思うが、災害が発生した際には、今回のガイドラインを基に、関係者と情報共有や連携を取りながら対応していきたい。

○有事の際、単独の企業でできることは本当に限られているため、関係者がうまく連携して進めていくことが必要である。今後検討が必要な課題は数多く残っており、より実効性の高いものにしていくためには、まだまだ検討を重ねていく必要があると感じている。

○物流の早期回復と荷主への正確な情報提供が重要であると考えている。今回のガイドラインには情報共有プラットフォームの設置、運用に言及されているので、参考にしながら、有事の際にはしっかり対応できるようにしていきたい。

○一番気になっているのは、今後の課題でも取り上げられているが、体制・役割についてである。、空港会社が定めるA2-BCPでは、緊急時にはA2-HQ(総合対策本部)が立ち上がり、明確な指揮系統が確立されることとなっているとある。大規模災害が起こった際、特に被災側の空港会社のそのような体制と今回を決めようとしている全体的な体制が、それぞれの計画の中でどのように位置づけられるのかがポイントになるのではないかと感じる。

○今回のヒアリングを通じて、関空水没の被害から得た様々な検討課題が出てきたと思うが、この中で国の役割と対策本部の設置の検討が非常に重要なのではないと思う。各空港会社も BCP で対応しているのことが、我々フォワードとしては待ちの立場であるため、どこでどうなっているのかがなかなかつかめない。もし対策本部が広域的に設置され、対策本部のどこに位置して、どのような情報を提供して、どのような行動をすればいいのかということが明確になれば、もっと有効な対応ができるのではないと思う。来年度もこういった検討を進めるのであれば、具体的なスケジュール、計画を立てて、これを役立ててもらいたいと思う。

○今回の検討を通じて、方針や現状の課題が明らかになったと思う。しかし、明日、関空が過去と同じように被災した場合、恐らく前と同じような混乱状態になるのではないかと。課題の提示で終わっており、具体的になっていない。同じような災害が発生した際、これが役立つものになるところまで進めていく必要があるのではないかと。可能であれば、これをベースに継続して検討会を開き、実際に合議できるようになればと思った。

○A2-BCP に基づいて A2-HQ が立ち上がった際、本部長が誰になるかなどはすべて決まっているので、そこで緊急事態宣言を出さず A2-HQ 開始をトリガーとしてはどうか。貨物地区だけが緊急事態宣言を出すというのは難しいのではないかと。A2-HQ が立ち上がっていること自体がすでに緊急事態を示しているため、その立ち上がりを緊急事態とみなして進めるのがよいのではないかと。貨物地区だけが被災するわけではなく、空港全体の問題になるので、来年度も開催されるのであれば、そのことの整合性を図っていくと、より現実に即したものになるのではないかと。一方で、A2-HQ は旅客ターミナルに人が残っているなど、人的な被災がある場合はほぼすべてのリソースをその救済に当てていくことになる。このため、広域支援協議体というようなものができれば、空港の貨物事業部が代替受け入れ空港の貨物営業部に対して、その協議体を通じて情報共有していくとうまくいくのではないかと。思う。

○関空に関しては、被災の後 BCP を検討いただき、実際にその後の台風などの際、すぐに緊急の会議を立ち上げ、情報共有をいただいております、大きな改善があったと思っております。

○定期航空協会は事業者ではないため、どのような貢献ができるかという点で難しいところもあるが、担当するそれぞれの主体の役割分担が一番重要であると思っており、今後の検討課題でもしっかり明記されているため、今後より具体的な検討を行う際においても、しっかりとできることは行っていきたいと思っております。

○災害時に体制を作る前の段階から、定期的あるいは継続的に情報交換の場を設けるとすることが重要であるということを再認識した。今後どんな形でこのような場が設置できるのかはまだ分からないが、ぜひ空港会社も含めて、このような場を作ることを検討して頂き、定期的に情報交換やガイドラインでまとめた点について共通認識を持ち、緊急時に備えることが必要であろうと感じた。

○災害時に体制を立ち上げる際どうするのかということについては、課題として残っていると考える。A2-BCP、A2-HQ といった緊急時に立ち上がる体制が別途存在するため、これらとの関係性をどう考えるかについては論点として残っている。ただ、あくまで航空物流という経済活動であるため、その範囲内でどう考えるか。

当然、人命などが最優先となるため、それらが担保された上での話になるのであろうと思う。こういったものをまとめていくためには、まとめ役が必要となるであろう。誰がまとめ役をするのか、実行する際の引き金を誰が引くのかといった具体的な問題がまだ残っている。今後はこれらの仕組みを考える必要がある。その中で、どのぐらいの権限や義務を持たせるのかといった点や実際にできること、できないことが出てくるので、その仕訳が必要になる。まだこれらの検討すべきことがあるが、こういう場を設けない限り、そういう話にはたどり付けないので、ぜひ続けていければと思っている。